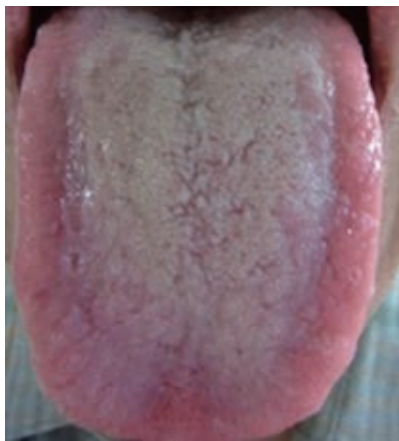




# 歯科 ニュース



最近、話題になったNEWSをご紹介します。



舌の表面にできた白い汚れ  
「舌苔」(岡山大学予防歯科提供)

## 白い舌、がんリスクか

アセトアルデヒド高濃度 北大など解明

2015年3月27日北海道新聞より

舌の表面にできる白いよごれ「舌苔」(ぜったい)が多い人は、口や喉のがんの原因になるとされる化合物「アセトアルデヒド」の口中濃度が高いことを岡山大と北大のチームが突き止め、27日発表しました。

チームは、舌苔を取り除くと濃度が下がることも確認しており、舌をきれいにすることが、がん予防につながる可能性がある、としています。

チームによると舌苔は、食べかすや、口の中からはがれ落ちた粘膜細胞、細菌がたまったもの。口の中が乾燥しやすいと付着しやすく、口臭の原因ともされています。

研究は、健康な男女65人を対象に実施。その結果、舌苔が舌全体の3分の2以上付着した人の呼気中のアセトアルデヒド濃度は、付着が3分の1以下の人の約3倍でした。

口の中のアセトアルデヒドは喫煙や飲酒などで発生するとされるが、チームは、舌苔に含まれる細菌もアセトアルデヒドを作り出しているとみています。

チーム岡山大病院歯科医師横井彩さんは「舌苔と発がんとの詳しい関連性や、どんな細菌が関与しているのかさらに調べたい」と話しています。成果は海外の科学誌電子板に掲載されました。